

関西医科大学大学院
看護学研究科
博士前期課程・博士後期課程（仮称）
設置に係るニーズアセスメント調査 報告書

平成 29 年 2 月 10 日

株式会社紀伊國屋書店
株式会社高等教育総合研究所

目次

1章 学生確保の見通し調査【入学意向についてのアンケート調査】結果	1
1. 「入学意向についてのアンケート調査」 概要	2
2. 「入学意向についてのアンケート調査」 集計結果	3
3. 「入学意向についてのアンケート調査」 調査結果の分析	9
4. 「入学意向についてのアンケート調査」 記述式設問に対する自由回答	18
5. 「入学意向についてのアンケート調査」 まとめ	21
2章 人材需要の見通し調査【採用意向についてのアンケート調査】結果	23
1. 「採用意向についてのアンケート調査」 概要	24
2. 「採用意向についてのアンケート調査」 集計結果	25
3. 「採用意向についてのアンケート調査」 調査結果の分析	33
4. 「採用意向についてのアンケート調査」 記述式設問に対する自由回答	43
5. 「採用意向についての向けアンケート調査」 まとめ	44
添付資料	
【添付①】「看護学研究科(仮称) 入学意向についてのアンケート調査」	46
【添付②】「看護学部(仮称)・看護学研究科(仮称) 採用意向についてのアンケート調査」	54

1章 学生確保の見通し調査
【入学意向についてのアンケート調査】
結 果

1. 「入学意向についてのアンケート調査」概要

- ◆調査の目的：本調査は、関西医科大学が平成30年4月に設置を予定する「看護学研究科 博士前期課程・博士後期課程(仮称)」における学生募集のニーズを、大学外の第三者機関により、看護職者、看護系教員、看護系学生へのアンケートを用いて計ることを目的とする。
- ◆調査期間：平成28年10月～平成28年12月
- ◆調査方法：調査対象の人事・採用担当者、看護部長宛に「看護学研究科 博士前期課程・博士後期課程(仮称)」の説明が入ったアンケート用紙を郵送し、看護職者、看護系教員、看護系学生へのアンケート調査用紙・返送用封筒の配布を依頼。個別に回答の上、直接返送を得る形式で実施した。
- ◆調査対象：近畿圏(2府4県)において、保健・医療機関を中心に170件を選定し調査(依頼先) 対象とした。
(内訳)
 - ★病院=64件
 - ★介護老人保健施設=36件
 - ★特別養護老人ホーム=11件
 - ★訪問看護ステーション=10件
 - ★地方自治体=31件
 - ★看護学部を設置する大学=18件
- ◆調査内容：選択式及び記述回答式の14問。
(主な質問項目)
 - ★回答者の基本情報
 - ★学歴が大学卒までの場合、「看護学研究科 博士前期課程(仮称)」への受験入学意向
 - ★学歴が大学院修了の場合、「看護学研究科 博士後期課程(仮称)」への受験入学意向
- ◆有効回答件数：949件
- ◆調査実施主体：株式会社紀伊國屋書店、株式会社高等教育総合研究所

2. 「入学意向についてのアンケート調査」集計結果

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択肢		回答数	構成比
1	女性	895	94.3%
2	男性	53	5.6%
	無回答	1	0.1%
	計	949	100.0%

問2 あなたが現在、お住まいの地域をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択肢		回答数	構成比
1	京都府	40	4.2%
2	滋賀県	8	0.8%
3	大阪府	879	92.6%
4	兵庫県	14	1.5%
5	奈良県	5	0.5%
6	和歌山県	3	0.3%
7	その他	0	0.0%
	計	949	100.0%

問3 あなたが現在保有している免許・資格をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

選択肢		回答数	回答率
1	看護師	943	99.4%
2	保健師	63	6.6%
3	助産師	32	3.4%
4	その他	16	1.7%

回答者数=949

問4 あなたの現在の勤務先をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択肢		回答数	構成比
1	病院・診療所	906	95.5%
2	介護保険関連施設	4	0.4%
3	訪問看護ステーション	3	0.3%
4	行政(保健センター・保健所)	3	0.3%
5	大学の看護学部(学科等)、研究科	24	2.5%
6	その他	4	0.4%
	無回答	5	0.5%
	計	949	100.0%

問5 あなたの看護職者としての累計勤務年数(さらに看護教員の方は、看護教員としての累計勤務年数も)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

【看護職者としての累計勤務年数】

選択肢		回答数	構成比
1	1年以内	67	7.1%
2	2～4年	207	21.8%
3	5～9年	183	19.3%
4	10～14年	160	16.9%
5	15～19年	108	11.4%
6	20年以上	219	23.1%
	無回答	5	0.5%
	計	949	100.0%

【看護教員としての累計勤務年数】

選択肢		回答数	構成比
1	1年以内	75	7.9%
2	2～4年	71	7.5%
3	5～9年	31	3.3%
4	10～14年	29	3.1%
5	15～19年	7	0.7%
6	20年以上	18	1.9%
	無回答	718	75.7%
	計	949	100.0%

問6 あなたの最終学歴をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択肢		回答数	構成比
1	専門学校卒	675	71.1%
2	短期大学卒	52	5.5%
3	高等学校看護学科(五年一貫制)	74	7.8%
4	大学	87	9.2%
5	大学院	19	2.0%
	無回答	42	4.4%
	計	949	100.0%

⇒問7～9は問6で「1」～「4」を回答した888名が対象。

問7 あなたは関西医科大学の「看護学研究科博士前期課程 ※仮称・設置構想中」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

選択肢		回答数	構成比
1	受験したい	150	16.9%
2	受験しない	725	81.6%
	無回答	13	1.5%
	計	888	100.0%

以下の問8・9は、問7で「1. 受験したい」を選択した方のみ

問8 あなたは関西医科大学の「看護学研究科博士前期課程 ※仮称・設置構想中」を受験し、合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

選択肢		回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	51	34.0%
2	合格した場合、状況によって入学したい	99	66.0%
	計	150	100.0%

問8で「2. 合格した場合、状況によって入学したい」とされた理由をお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

選択肢		回答数	回答率
1	併願している他大学院の可否の結果によって判断したい。	7	7.1%
2	勤務する職場の状況によって判断したい。	55	55.6%
3	家庭の状況によって判断したい。	58	58.6%
4	奨学金・学費減免制度の適用の有無によって判断したい。	62	62.6%
5	その他	4	4.0%

回答者数=99

問9 あなたが関西医科大学の「看護学研究科博士前期課程 ※仮称・設置構想中」で学びたい理由をお答えください。（最もあてはまるものに1つ○）

選択肢		回答数	構成比
1	臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたい	76	50.7%
2	修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたい	51	34.0%
3	将来、現場の指導者、指導的役割を担いたい	14	9.3%
4	将来、教育者や研究者になりたい	8	5.3%
5	その他	1	0.7%
	計	150	100.0%

●問 10～12 は問 6 で「5」を回答した 19 名が対象。

問 10 あなたは関西医科大学の「看護学研究科博士後期課程 ※仮称・設置構想中」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの 1 つに○）

選択肢		回答数	構成比
1	受験したい	8	42.1%
2	受験しない	11	57.9%
計		19	100.0%

以下の問 11・12 は、問 10 で「1. 受験したい」を選択した方のみ

問 11 あなたは関西医科大学の「看護学研究科博士後期課程 ※仮称・設置構想中」を受験し、合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの 1 つに○）

選択肢		回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	5	62.5%
2	合格した場合、状況によって入学したい	3	37.5%
計		8	100.0%

問 11 で「2. 合格した場合、状況によって入学したい」とされた理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

選択肢		回答数	回答率
1	併願している他大学院の合否の結果によって判断したい。	2	66.7%
2	勤務する職場の状況によって判断したい。	2	66.7%
3	家庭の状況によって判断したい。	2	66.7%
4	奨学金・学費減免制度の適用の有無によって判断したい。	2	66.7%
5	その他	1	33.3%

回答者数=3

問 12 あなたが関西医科大学の「看護学研究科博士後期課程 ※仮称・設置構想中」で学びたい理由をお答えください。（最もあてはまるもの 1 つに○）

選択肢		回答数	構成比
1	臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたい	4	50.0%
2	博士の学位を取得し、キャリアアップを図りたい	3	37.5%
3	将来、現場の指導者、指導的役割を担いたい	0	0.0%
4	将来、教育者や研究者になりたい	1	12.5%
5	その他	0	0.0%
計		8	100.0%

以下の問13・14は、問7または問10で「2. 受験しない」を選択した方のみ

- 問13** あなたが関西医科大学の「看護学研究科博士前期課程 ※仮称・設置構想中」または「看護学研究科博士後期課程 ※仮称・設置構想中」の受験を希望しない理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

	選択肢	回答数	回答率
1	大学院進学を考えていないから	496	67.4%
2	構想内容に魅力を感じないから	65	8.8%
3	他の大学院への進学を検討しているから	12	1.6%
4	新設の大学院に進学するのは不安だから	29	3.9%
5	自宅からの通学が不便そうだから	32	4.3%
6	学費が高いから	235	31.9%
7	もっと詳しい情報を得た上で検討したいから	116	15.8%
8	その他	98	13.3%

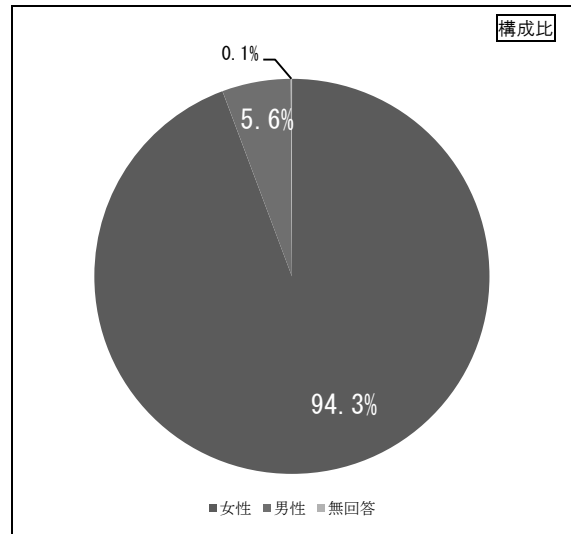
回答者数=736

➡問14は記述式設問に対する自由回答(18頁参照)。

4. 「入学意向についてのアンケート調査」調査結果の分析

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

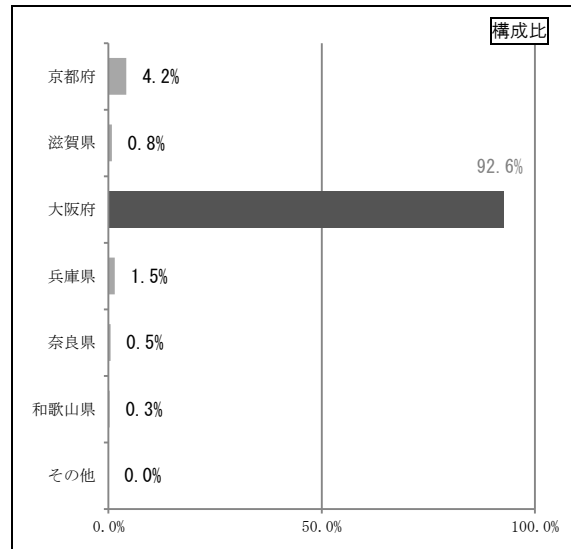
選択肢		回答数	構成比
1	女性	895	94.3%
2	男性	53	5.6%
	無回答	1	0.1%
	計	949	100.0%



上記問1において、回答者の性別を質問した。総回答者数949名のうち、女性が94.3%、男性が5.6%となった(無回答が0.1%)。

問2 あなたが現在、お住まいの地域をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択肢		回答数	構成比
1	京都府	40	4.2%
2	滋賀県	8	0.8%
3	大阪府	879	92.6%
4	兵庫県	14	1.5%
5	奈良県	5	0.5%
6	和歌山県	3	0.3%
	その他	0	0.0%
	計	949	100.0%

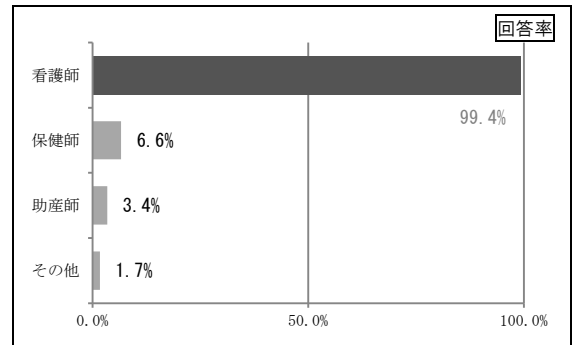


上記問2において、回答者の居住地を質問した。大学の所在地である「3 大阪府」が突出して多く、92.6%(879名)となり、90%以上を占めた。

問3 あなたが現在保有している免許・資格をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

選択肢		回答数	回答率
1	看護師	943	99.4%
2	保健師	63	6.6%
3	助産師	32	3.4%
4	その他	16	1.7%

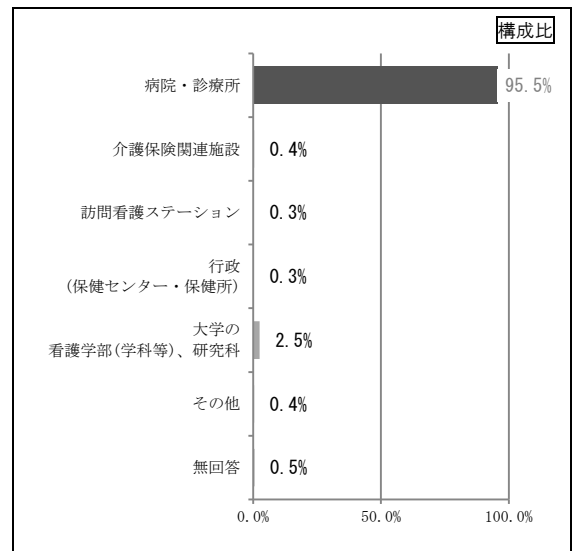
回答者数=949



上記問3において、回答者が現在保有している免許・資格を質問した。回答者の99.4%(943名)が「1 看護師」を回答した。他の選択肢は、「2 保健師」が6.6%(63名)、「3 助産師」が3.4%(32名)、「4 その他」が1.7%(16名)となった。

問4 あなたの現在の勤務先をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

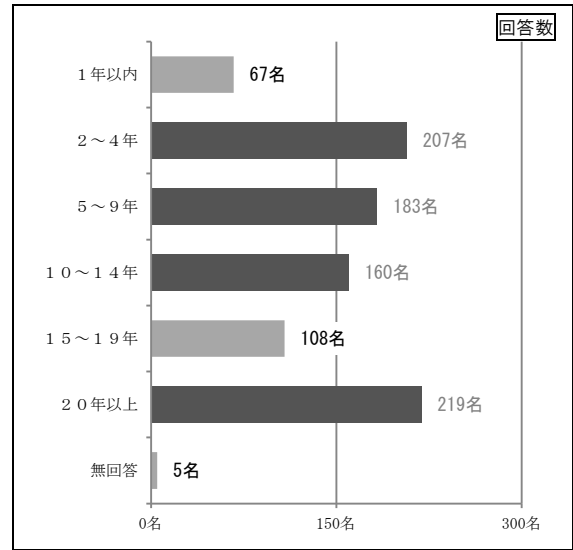
選択肢		回答数	構成比
1	病院・診療所	906	95.5%
2	介護保険関連施設	4	0.4%
3	訪問看護ステーション	3	0.3%
4	行政(保健センター・保健所)	3	0.3%
5	大学の看護学部(学科等)、研究科	24	2.5%
6	その他	4	0.4%
	無回答	5	0.5%
	計	949	100.0%



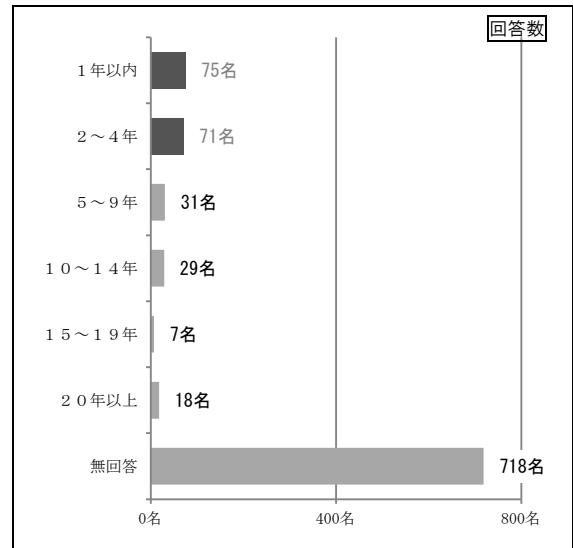
上記問4において、回答者の現在の勤務先を質問した。回答者の95.5%(906名)が「1 病院・診療所」を回答した。他の選択肢で1%以上の回答があったのは「5 大学の看護学部(学科等)、研究科」の2.5%(24名)のみであった。

問5 あなたの看護職者としての累計勤務年数（さらに看護教員の方は、看護教員としての累計勤務年数も）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

看護職者としての累計勤務年数	選択肢		回答数	構成比
	1	1年以内	67	7.1%
	2	2～4年	207	21.8%
	3	5～9年	183	19.3%
	4	10～14年	160	16.9%
	5	15～19年	108	11.4%
	6	20年以上	219	23.1%
		無回答	5	0.5%
		計	949	100.0%



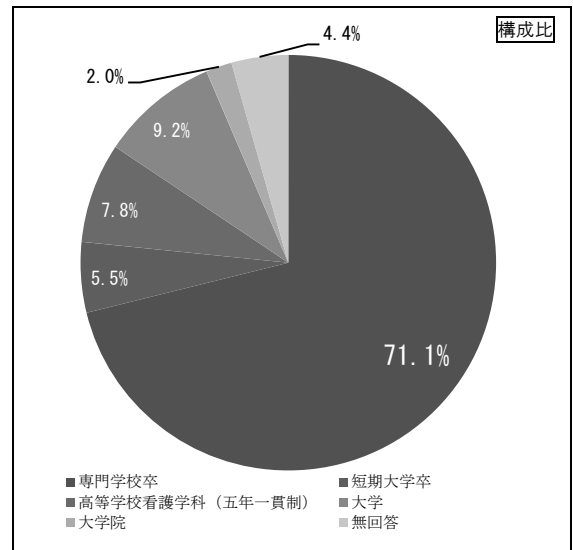
看護教員としての累計勤務年数	選択肢		回答数	構成比
	1	1年以内	75	7.9%
	2	2～4年	71	7.5%
	3	5～9年	31	3.3%
	4	10～14年	29	3.1%
	5	15～19年	7	0.7%
	6	20年以上	18	1.9%
		無回答	718	75.7%
	計	949	100.0%	



上記問5において、回答者の看護職者としての累計勤務年数と看護教員としての累計勤務年数（看護教員のみ）を質問した。看護職者としての累計勤務年数については、「6 20年以上」が219名(23.1%)と最も多く、以下、207名(21.8%)の「2 2～4年」、183名(19.3%)の「3 5～9年」、160名(16.9%)の「4 10～14年」となった。一方、看護教員の累計勤務年数については、（無回答の718名を除くと）「1 1年以内」が75名(7.9%)と最も多く、次いで71名(7.5%)の「2 2～4年」となった。

問6 あなたの最終学歴をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択肢		回答数	構成比
1	専門学校卒	675	71.1%
2	短期大学卒	52	5.5%
3	高等学校看護学科（五年一貫制）	74	7.8%
4	大学	87	9.2%
5	大学院	19	2.0%
	無回答	42	4.4%
	計	949	100.0%

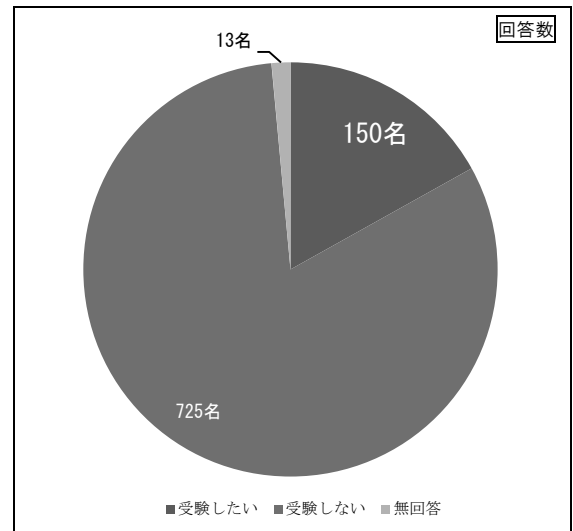


上記問6において、回答者の最終学歴を質問した。回答者の71.1%(675名)が「1 専門学校卒」と回答し、突出した結果となった。以下、9.2%(87名)の「4 大学」、7.8%(74名)の「3 高等学校看護学科(五年一貫性)」、5.5%(52名)の「2 短期大学卒」と続いた。

⇒問7～9は問6で「1」～「4」のいずれかを回答した888名が対象。

問7 あなたは関西医科大学の「看護学研究科博士前期課程 ※仮称・設置構想中」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

選択肢		回答数	構成比
1	受験したい	150	16.9%
2	受験しない	725	81.6%
	無回答	13	1.5%
	計	888	100.0%

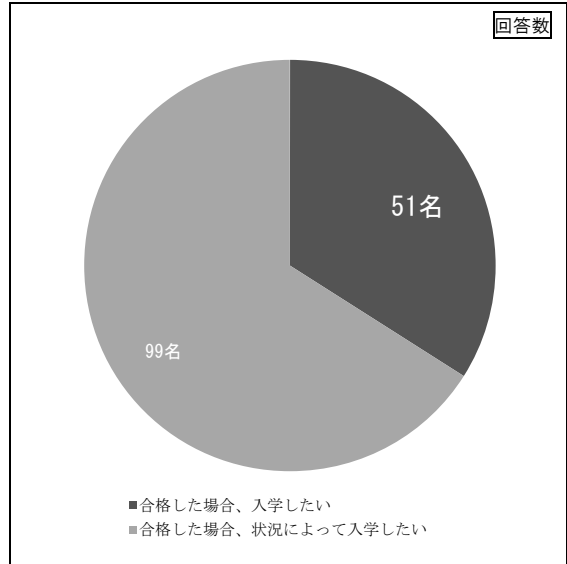


上記問7において、「看護学研究科博士前期課程（仮称）」に対する受験意志を質問した。「2 受験しない」が725名(81.6%)、受験意志を示す「1 受験したい」の回答は150名(16.9%)となった。

以下の問8・9は、問7で「1. 受験したい」を選択した方のみ

問8 あなたは関西医科大学の「看護学研究科博士前期課程 ※仮称・設置構想中」を受験し、合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

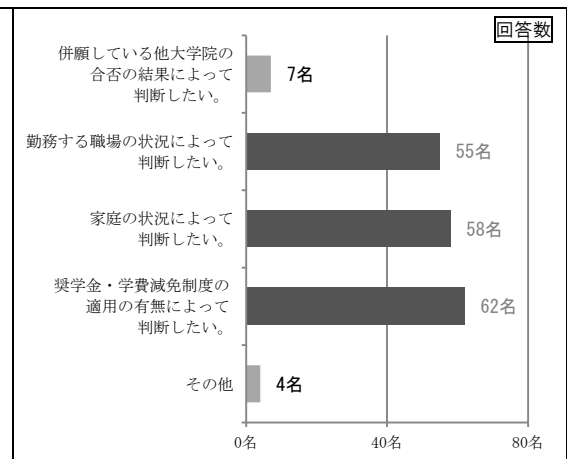
選択肢		回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	51	34.0%
2	合格した場合、状況によって入学したい	99	66.0%
計		150	100.0%



上記問8において、問7で「看護学研究科博士前期課程（仮称）」を「1 受験したい」と回答した150名に対して、入学意志を質問した。明確な入学意志を示す「1 合格した場合、入学したい」が51名(34.0%)となり、「2 合格した場合、状況によっては入学したい」は99名(66.0%)となった。

問8で「2. 合格した場合、状況によって入学したい」とされた理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

選択肢		回答数	回答率
1	併願している他大学院の合否の結果によって判断したい。	7	7.1%
2	勤務する職場の状況によって判断したい。	55	55.6%
3	家庭の状況によって判断したい。	58	58.6%
4	奨学金・学費減免制度の適用の有無によって判断したい。	62	62.6%
5	その他	4	4.0%

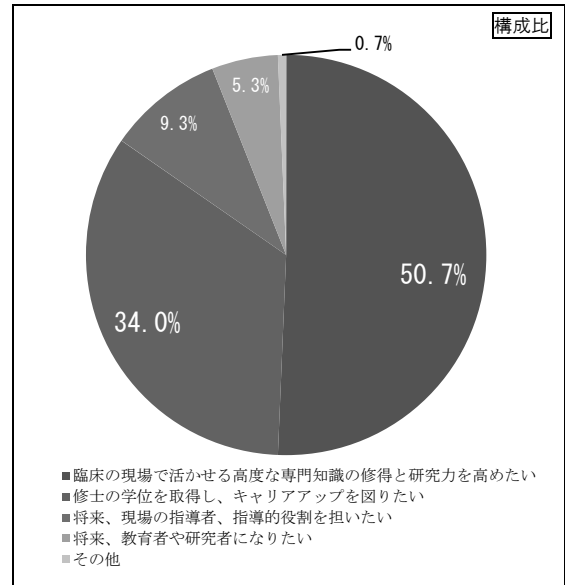


回答者数=99

上記問8で「2 合格した場合、状況によって入学したい」と回答した99名に対して、その理由を質問した。「4 奨学金・学費減免制度の適用の有無によって判断したい。」が62名(62.6%)、「3 家庭の状況によって判断したい。」が58名(58.6%)、「2 勤務する職場の状況によって判断したい。」が55名(55.6%)と3つの選択肢が微差となった。

問9 あなたが関西医科大学の「看護学研究科博士前期課程 ※仮称・設置構想中」で学びたい理由をお答えください。(最もあてはまるものに1つ○)

選択肢	回答数	構成比
1 臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたい	76	50.7%
2 修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたい	51	34.0%
3 将来、現場の指導者、指導的役割を担いたい	14	9.3%
4 将来、教育者や研究者になりたい	8	5.3%
5 その他	1	0.7%
計	150	100.0%

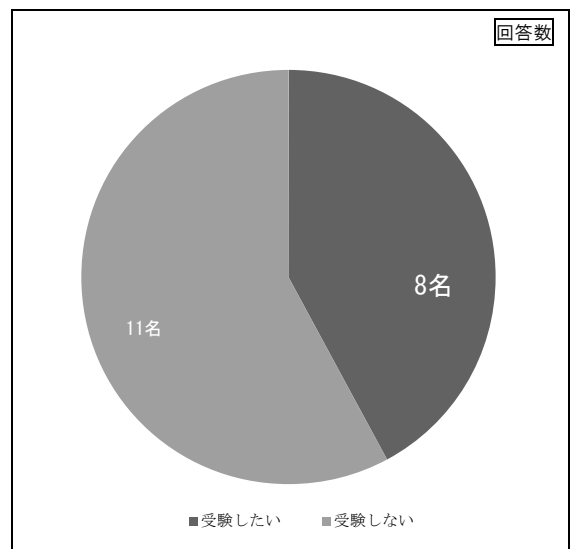


上記問9において、問7で「看護学研究科博士前期課程（仮称）」を「1 受験したい」と回答した150名に対して、その理由を質問した。「1 臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたい」が50.7%(76名)と最も多く、次いで「2 修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたい」が34.0%(51名)となった。他の選択肢は10%以下であった。

☞問10～12は問6で「5」と回答した19名が対象。

問10 あなたは関西医科大学の「看護学研究科博士後期課程 ※仮称・設置構想中」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

選択肢	回答数	構成比
1 受験したい	8	42.1%
2 受験しない	11	57.9%
計	19	100.0%

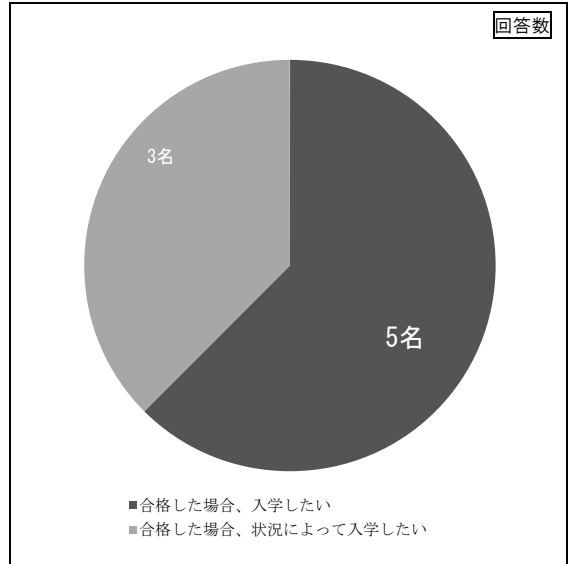


上記問10において、「看護学研究科博士後期課程（仮称）」に対する受験意志を質問した。「2 受験しない」が11名(57.9%)、受験意志を示す「1 受験したい」の回答は8名(42.1%)となった。

以下の問11・12は、問10で「1. 受験したい」を選択した方のみ

問11 あなたは関西医科大学の「看護学研究科博士後期課程 ※仮称・設置構想中」を受験し、合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

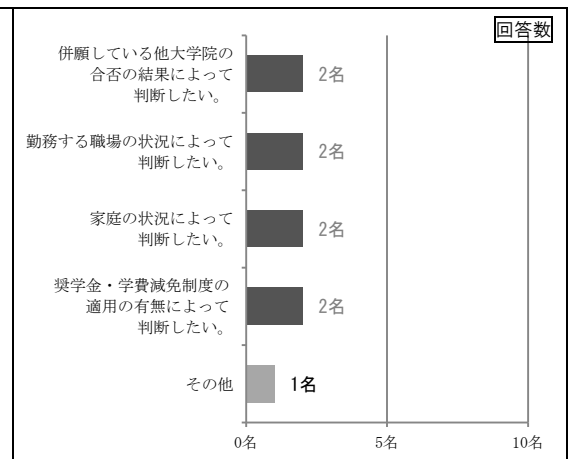
選択肢		回答数	構成比
1	<u>合格した場合、入学したい</u>	5	62.5%
2	<u>合格した場合、状況によって入学したい</u>	3	37.5%
計		8	100.0%



上記問11において、問10で「看護学研究科博士後期課程 (仮称)」を「1 受験したい」と回答した8名に対して、入学意志を質問した。明確な入学意志を示す「1 合格した場合、入学したい」が5名(62.5%)となり、「2 合格した場合、状況によっては入学したい」は3名(37.5%)となった。

問11で「2. 合格した場合、状況によって入学したい」とされた理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

選択肢		回答数	回答率
1	<u>併願している他大学院の合否の結果によって判断したい。</u>	2	66.7%
2	<u>勤務する職場の状況によって判断したい。</u>	2	66.7%
3	<u>家庭の状況によって判断したい。</u>	2	66.7%
4	<u>奨学金・学費減免制度の適用の有無によって判断したい。</u>	2	66.7%
5	その他	1	33.3%

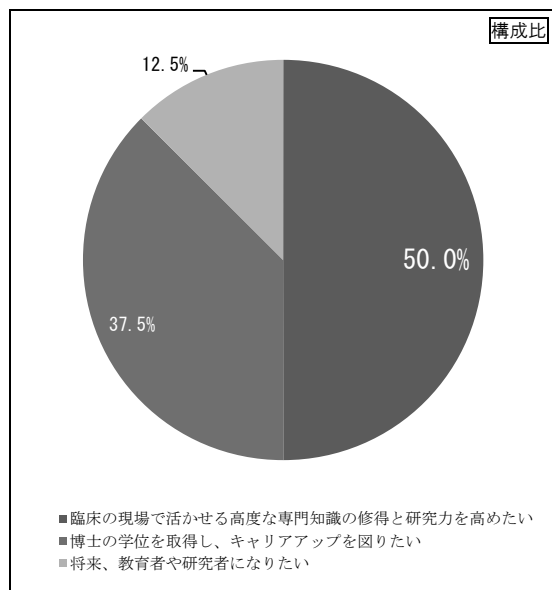


回答者数=3

問11で「2 合格した場合、状況によって入学したい」と回答した3名に対して、その理由を質問した。2名(66.7%)が、「1 併願している他大学院の合否の結果によって判断したい。」「2 勤務する職場の状況によって判断したい。」「3 家庭の状況によって判断したい。」「4 奨学金・学費減免制度の適用の有無によって判断したい。」のすべてを回答した。

問12 あなたが関西医科大学の「看護学研究科博士後期課程 ※仮称・設置構想中」で学びたい理由をお答えください。(最もあてはまるもの1つに○)

選択肢	回答数	構成比
1 臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたい	4	50.0%
2 博士の学位を取得し、キャリアアップを図りたい	3	37.5%
3 将来、現場の指導者、指導的役割を担いたい	0	0.0%
4 将来、教育者や研究者になりたい	1	12.5%
5 その他	0	0.0%
計	8	100.0%



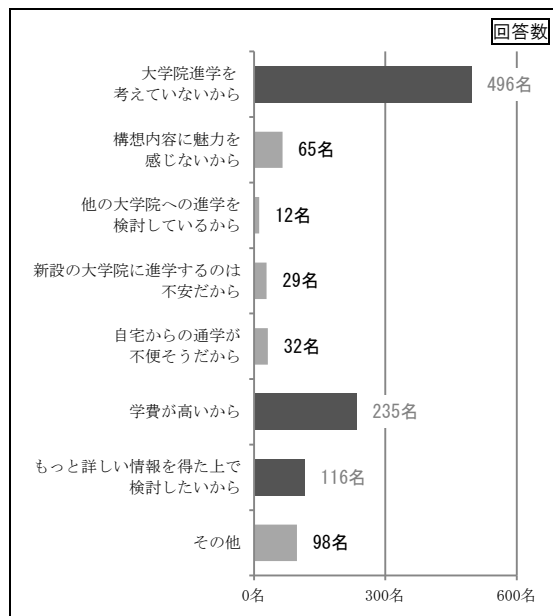
上記問12において、問10で「看護学研究科博士後期課程（仮称）」を「1 受験したい」と回答した8名に対して、その理由を質問した。「1 臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたい」が50.0%（4名）、次いで「2 博士の学位を取得し、キャリアアップを図りたい」が37.5%（3名）、「4 将来、教育者や研究者になりたい」が12.5%（1名）となった。

以下の問13・14は、問7または問10で「2. 受験しない」を選択した方のみ。

問13 あなたが関西医科大学の「看護学研究科博士前期課程 ※仮称・設置構想中」または「看護学研究科博士後期課程 ※仮称・設置構想中」の受験を希望しない理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

選択肢	回答数	回答率
1 大学院進学を考えていないから	496	67.4%
2 構想内容に魅力を感じないから	65	8.8%
3 他の大学院への進学を検討しているから	12	1.6%
4 新設の大学院に進学するのは不安だから	29	3.9%
5 自宅からの通学が不便そうだから	32	4.3%
6 学費が高いから	235	31.9%
7 もっと詳しい情報を得た上で検討したいから	116	15.8%
8 その他	98	13.3%

回答者数=736



上記問13において、「看護学研究科博士前期課程(仮称)」または「看護学研究科博士後期課程(仮称)」を「2 受験しない」と回答した736名(725名+11名)に対して、その理由を質問した。「1 大学進学を考えていないから」の回答が496名(67.4%)と最も多かった。以下、「6 学費が高いから」が235名(31.9%)、「7 もっと詳しい情報を得た上で検討したいから」が116名(15.8%)となった。他の選択肢については100名未満の回答数であった。

⇒問14は記述式設問に対する自由回答(18頁参照)

4. 「入学意向についてのアンケート調査」記述式設問に対する自由回答

以下の問 14 は、問 7 または問 10 で「2. 受験しない」を選択した方のみ。

問 14 よろしければ、どのような条件や環境を整えれば、本学大学院への進学を検討されるかについてお答えください。

(順不同・原文ママ)

No.	回 答
1	学費、社会人入学（勤務調整のしやすさ）の有無など。
2	時間とお金の問題。
3	自分のライフプランとの調整。
4	奨学金制度、育児との環境を整えれば。
5	メリットが正直分からない。メリットがしっかり分かれば進学も検討する。
6	学費が安ければ進学しようと思っています。
7	小さな子どもがいると難しいです。
8	学費が免除される様な状況があれば。
9	病院で看護師として勤務経験を積んでから、大学院進学するどうかは検討したい。
10	老後の人生を考えている。家族に負担がかかる。
11	学費がもっと安くなれば考えます。
12	学費の割引があれば考えたい。
13	学費面の援助。
14	家庭の問題が解決できれば。
15	自分の研究課題と指導教員の先生や研究室との差がないか。学費、学位取得の条件。
16	学費免除。
17	働きながら通えること。学費が安いこと。小児看護学の専門看護師養成課程があること。
18	学費が高く、かつ新設という点から、どうしても他の院に魅力を感じてしまう。
19	進学した方の今後の活躍など、情報を得る事ができたら検討するかもしれません。
20	家族環境が整い(落ち着き)、自分1人に時間がかけられるようになれば。また、その時に意欲があれば。
21	病院から学費がでて、子育てしながらでも通学しやすい環境が整っていれば検討したい。
22	子育て支援。
23	生活費が確保されている環境であれば、進学したいと思いますが、生活をKEEPしていくには、日々働いていないといけません。進学される方は羨ましいです。
24	経済面、家庭の状況。
25	職員であれば学費(入学金)の免除など。
26	学費、奨学金等の条件があれば考える。
27	金銭的な問題。育児の問題。
28	大学卒業できれば、大学院へ進学を検討する。
29	どのような研究をされている教授がいるかなど、特色が分かれば。
30	金銭。定時の環境(9時～17時など)。保育所お迎えができる環境。
31	学費が安い。
32	働きながら進学できる。
33	学費の免除。もしくは基本給は出る。
34	学費の免除。

35	経済面に問題なければ進学したい。受験料・学費だけでなく、給与所得がなくなるのは困る。自分より子どもを優先させたいので。
36	子どもが成人して、時間にも金銭的にも余裕ができ、かつ看護への意欲があれば検討すると思う。若い方でも子どもを預ける場所が大学があれば、進学を考えるとと思う。
37	小さい子どもがいるので、保育所があれば。返さなくて良い奨学金があれば検討します。
38	育児のフォローを頼める人が身近にいて、伴侶が進学を認めてくれ、学費を病院が一部負担してくれるなら考えたい。
39	年齢。経済的な資金など。
40	学費は可能なかぎり低い方が良いと思います。
41	学費を安くしてほしい。
42	国際看護についての科目があれば行きたいと思う。
43	子育てから離れるくらい成長し、大学院の研究システムが興味深いものであったら。
44	学費が安くなれば。
45	学費が2～3割低くなれば考える。
46	学費がもう少し低かったら。
47	子育てが落ち着き、金銭面に余裕ができ、魅力を感じる事ができれば。
48	学費の負担軽減。勤務しながらの通学が可能。
49	同時設立は特に不安。設備の充実。教員の専攻分野や研究結果。社会人就学の可能。
50	大学に進学した際、現在の仕事はできないこととなり、収入面での不安がある。また参考とはいえ学費が高すぎる。この学費を払って、自分に得られるものがあるのか、現在の構想中の内容から想像できない。
51	子育てが一段落したら・・・!?
52	学費が国公立と同じ水準になる。自分の専門領域に関する魅力的な研究・教育活動されている先生がいる。新設は不都合があっても、完成年度での修正は難しい為、開設後数年し、きちんと課程が整い、修了生が貴学での学びを活かした活躍をされているという事が分かれば、検討候補として挙がると考える。
53	学費の免除、卒後就職できる。
54	通信制で単位を取得したい。
55	学費の免除（奨学金制度）のようなものがあれば良いと思います。
56	学費。子供がいるので保育環境など。
57	年齢が若くて、経済的に余裕があれば受験してみたい。
58	学費の免除。
59	所属病院に優遇制度があるなら。手当など。
60	働きながら通うことが出来る。大学へ通う必要性。メリット・デメリットなどの勉強会をもっと開いて欲しい。
61	どんなことをしているのか分からないので、魅力を感じれば。
62	職員であれば、何か助成があり、負担がなく入学出来る制度があれば。
63	費用、時間が出来たら。
64	学費援助などがあれば、考えるのではないかと思います。
65	奨学金制度。
66	奨学金。学費減免。
67	学費、就業との兼ね合い。職場がどこまで理解してくれるか。
68	学費、家庭との両立。
69	大学院へ進学することへのメリットとデメリットを、もっと具体的に知ることが出来たら。
70	奨学金制度。
71	大学院へ進学することでおこる利点が明確に現場に伝わり、患者との対応よりも魅力を感じたら。
72	学費が安くなれば。

73	受験後、大学院に通うとなった場合、費用面が心配であるので、何らかの援助が受けられる体制を検討して欲しい。
74	カリキュラムなど、もっと詳細が分からないという気持ちはある。
75	学費負担、子育て・家庭との両立が可能。
76	幼児がいても、院内保育に通えるようにして欲しい。金銭面も休職だときつい。
77	就労中の職員は安くして欲しい。
78	とりあえず、子育てが一段落してから。後は、お金との相談や興味が向いたら。
79	奨学金などの学費補助。病児を含む保育所の設置。
80	自分の人生とキャリアのタイミング。
81	自分の目指すキャリアにおいて、大学院卒が必要となれば検討する。
82	金銭的余裕。
83	育児と両立出来るのであれば、進学を検討する。
84	働いている時と同様の金額の毎月の給料が入るかどうかが不安。
85	学費の免除、又は貸し付け。
86	給与がある中で、進学出来るのであれば、家庭を持っていても出来るかなと考えます。
87	病院からの支援金があれば。
88	学びたい分野、研究を実践している教授がいらっしゃる場合は検討する可能性があります。
89	内容を詳しく知った上で、検討していきたい。
90	もう少し若ければと思うが、今の年齢から2年ないし、3年現場から離れるとなると難しいと思う。
91	学費が高いこと。その間の職場は退職扱いとなるのか。生活面が心配。大学院修了後の仕事内容や、臨床から離れるのか等知りたい。
92	年齢がまだ若ければ、チャレンジしたい。家庭との両立。学費面。
93	金銭面での補助。
94	学費が安く、卒業後、復職する時のメリットが明確にあれば良いと思います。
95	他校に比べ学費が高すぎる。
96	現時点では、進学を考えていません。もし、進学をするとしても、金銭面や育児との両立など条件がそろわなければ進学は難しいと思います。
97	経済的な背景やすべての環境を整えれば。
98	勤務を続けながら、通学出来るような支援システムの構築が必要。(学費面でも、就業面でも。)
99	博士後期課程を検討中です。やはり、博士前期課程とのつながりが難しいと思われる為、新規のところは行きづらいたと考えます。